

# 令和4年度水稲V溝乾田直播見本栽培のまとめ

## 1 耕種概要

作業	内容
代かき	12月上旬(播種前年の積雪前)
種子消毒	4月上旬 スポルタックスターナSE 4月中旬 キヒゲンR2フロアブル
播種作業	4月28日 播種量 乾籾10kg/10a程度 施肥量 窒素成分10kg/10a程度
雑草防除	5月17日 ノミニー液剤(200mL/10a)
入水	5月23日から開始(稲1~2葉期)
雑草防除	6月4日 アツパレZジャンボ(400g/10a)
病虫害防除	8月3日 プラシンゾル(0.8L/10a) 8月13日 スタークルメイト液剤10(0.8L/10a) 8月19日 スタークルメイト液剤10(0.8L/10a)
収穫	10月上旬
耕起	11月上旬

## 2 生育データ

表1 生育ステージ到達日等

出芽			幼穂形成期	出穂期	成熟期
始め	盛期	揃い			
5月第3半旬	5月第4半旬	5月第5半旬	7月9日	8月2日	9月18日

- ・ 出芽は良好で5月24日現在の苗立数は220本/㎡を確保しました。
- ・ 平均気温は平年より高い日が多く、出穂期は8月2日と例年より早まりました。

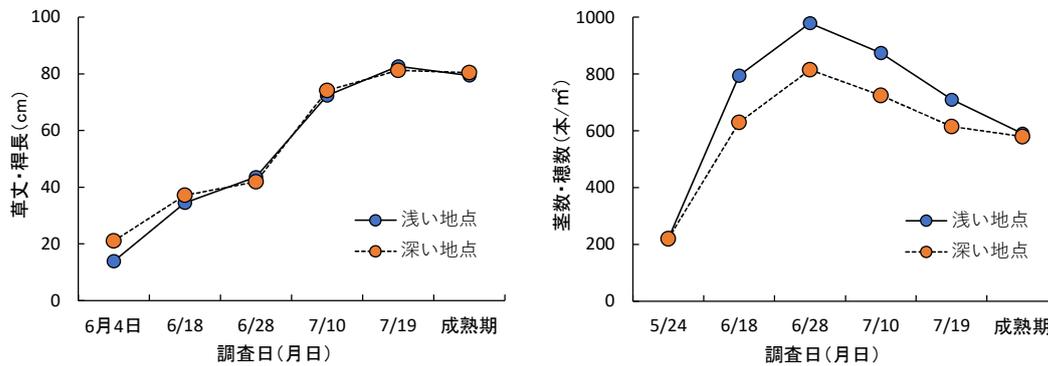


図1 生育の推移

- ・圃場の凹凸の関係上、水深が深くなった地点は、浅い地点より茎数が少なく推移しましたが、最終的な穂数は同等となりました。苗立ち数が多かったことから、6月18日には有効茎数を確保しました。

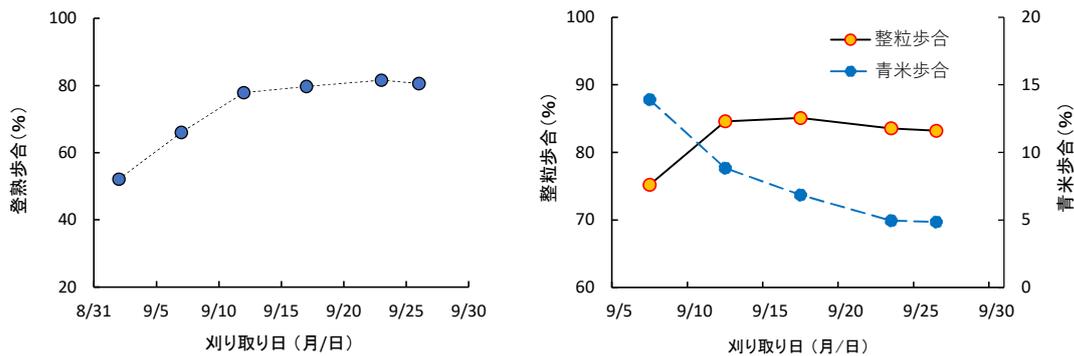


図2 登熟歩合（左図）と整粒歩合および青米歩合（右図）の推移

- ・登熟歩合は9月17日（出穂後積算気温 1017℃）に80%に達しました。
- ・粃の黄化の進みはやや緩慢に推移しましたが、青米歩合は9月12日（出穂後積算気温 913℃）には10%を下回り、以降は整粒歩合が80%超となりました。

表2 収量調査結果（坪刈り成績）

年次	収量 kg/a	穂数 本/m <sup>2</sup>	一穂粃数 粒	粃数 100粒/m <sup>2</sup>	登熟歩合 %	千粒重 g
本年	70.0	560	65	361	80.6	24.0
前年	76.2	542	72	385	82.0	24.2

注) 3 m<sup>2</sup>を3箇所坪刈りしたときの平均値。本年は無追肥で、前年は幼穂形成期に2kg/10aを追肥した。

表3 玄米外観品質（坪刈り成績）

年次	整粒 %	胴割粒 %	白未熟粒 %	青未熟粒 %	その他未熟粒 %	死米 %
本年	82.2	1.7	4.9	2.7	7.6	0.4
前年	80.6	4.7	3.2	4.6	8.0	0.2

注) 穀粒判別器（サタケ社：RGQ120）による観測値。

- ・ 水稻V溝乾田直播見本圃場の収量は70.0kg/10aでした。
- ・ 整粒歩合は82.2%で玄米の外観品質は前年並みでした。

### 3 生育の様子



**5月10日** 圃場表面は乾燥しており、稲の出芽は見られていませんでしたが、V字状の溝内には適度な水分があり、土中で発芽・発根している種子もみられました。



**5月17日** 浸種籾を播種していること、播種後が高温傾向で適度に降水があったことから出芽は順調で、同日の出芽数は150本/m<sup>2</sup>でした。ノビエの葉齢進展も早く、4葉期を超える個体も散見されたことから入水直前の選択性茎葉処理剤を散布しました。



**5月23日** 入水を開始しました。同日には、苗立ち数が220本/m<sup>2</sup>を確保していました。ノミニー液剤による軽微な薬害（黄化症状）がみられましたが、その後の生育には支障がありませんでした。



**6月4日** 一発除草剤を散布しました。稲の平均葉齢は3.1葉でした。



**6月18日** 生育は良好ですすでに十分な茎数を確保していました。

水深が浅い地点（写真左） 草丈：34.5cm、茎数：795本/m<sup>2</sup>

水深が深い地点（写真右） 草丈：37.2cm、茎数：630本/m<sup>2</sup>



**6月28日** 有効茎が確保されたため、天水を利用した深水管理を実施しました。

水深が浅い地点（写真左） 草丈：43.6cm、茎数：980本/m<sup>2</sup>、SPAD502：33.3

水深が深い地点（写真右） 草丈：41.9cm、茎数：815本/m<sup>2</sup>、SPAD502：33.2



**7月10日** 調査前日の7月9日に幼穂形成期に到達しました。

水深が浅い地点（写真左） 草丈：72.3cm、茎数：875本/m<sup>2</sup>、SPAD502：30.6

水深が深い地点（写真右） 草丈：74.1cm、茎数：725本/m<sup>2</sup>、SPAD502：32.6



**7月19日** 葉耳間長は6cm程度で、冷害危険期間に達していました。

水深が浅い地点（写真左） 草丈：82.6cm、茎数：710本/m<sup>2</sup>、SPAD502：28.9

水深が深い地点（写真右） 草丈：81.2cm、茎数：615本/m<sup>2</sup>、SPAD502：30.3



### 8月3日

出穂期は8月2日でした。

8月3日に殺菌剤、8月13日と8月19日に殺虫剤を散布しました。



8月24日 稈長は80cm程度、 $\text{m}^2$ 当たり穂数は580~590本/ $\text{m}^2$ でした。倒伏は見られず、登熟は順調に進みました。



9月26日 9月18日に成熟期（籾の黄化割合が9割程度）に達しました。また、9月26日に坪刈り調査を実施しました。